住みよいまちづくりを目指して

11月は自治会加入促進月間

自治会は、地域に住んでいる人たちが協力し合って住みよいまちづくりを目指す自治組織です。自治会の活動は、主に加入者の会費で、自主的に運営されています。ぜひ自治会に加入してください。

■問い合わせ先　コミュニティ協働推進課　☎(36)5394

今こそ、自治会の役割が重要

市全体の自治会加入率は、以前は90％を超えていましたが、現在では71.7％で低下傾向にあります（平成29年1月末現在）。その一方で、核家族化や高齢化が進み、生活様式が変化する中で、自治会の役割がますます重要になっています。

各自治会では、さまざまな活動や行事を通して住民のつながりが生まれています。実際に、住民のつながりが強い地域ほど犯罪が起こりにくかったり、東日本大震災や熊本地震といった大災害時に避難所運営が円滑に進んだという話を聞きます。このようなことからも、最も身近な地域の互助組織の必要性が見直されています。

地域は自分たちで守りたい

自由ヶ丘第二区会
会長・片平圭一さん

今回は、自由ヶ丘コミセンの周辺、約650世帯が加入する自由ヶ丘第二区会の会長・片平圭一さんに、自治会活動について話を聞きました。

自由ヶ丘第二区会では、防災訓練や地域行事など、多くの住民が集まる行事を大切にしています。また、それに関わる役員などの関係づくりも、まちづくりには欠かせません。住民の高齢化などさまざまな課題はありますが、つながりや助け合いを意識した安全で住みよいまちを目指して取り組んでいます。

子どもたちも一緒になって消火器操作を訓練

車椅子での搬送訓練

防災訓練　いざという時の地域の力

自由ヶ丘３、４、５丁目からなる自由ヶ丘第二区会では、３つの町内が持ち回りで自主防災訓練を実施しています。今年度は150人を超える住民が集まり、住民の防災意識の高さを実感しました。避難指示発令後、自由ヶ丘３丁目公園に集合し、消防署員から人口呼吸やＡＥＤの操作、消火器の操作などを教わりました。また、福祉委員、民生委員・児童委員が協力し、けが人の担架搬送と避難行動要支援者の車椅子搬送にも取り組みました。

訓練を通して住民同士が顔を合わせることが、防災への一歩です。さまざまな状況を想定して訓練を続け、輪を広げていきたいです。

防犯活動　有志の原動力

児童下校時に週１回の防犯パトロール、月２回の青色防犯パトロールを行っているほか、登校時には月１回の朝のあいさつ運動を行うなど、子どもたちの安全を見守っています。この防犯パトロールのメンバーは地域の有志で構成していて、たびたび親睦会を開いています。その結果、メンバー同士の連帯感が生まれ、自治会行事を進める上での原動力と結束力につながっています。

地域行事　人と人がつながる交流の力

他の自治会と同じように敬老会や日帰りバス旅行も行っていますが、特に子どもから高齢者までが集う地域行事を大切にしています。年末に自由ヶ丘地区コミュニティ・センターの駐車場を会場にして行う行事では、自治会役員、防犯パトロールのメンバー、しらゆり会（高齢者の会）、子ども会、福祉部会、おやじの会など、多くの住民が関わります。高齢者や保護者の指導のもとで伝統行事や、同時にコマ回しなどの昔遊びを行い、今の子どもたちと「昔の子どもたち」が懐かしい遊びに興じました。当日は、約500人の参加があり、交流を深めることができています。

地域の行事や自治会活動に関わることで、自分の住んでいる地域にもっと愛着が湧くものです。住みよいまちは、身近なつながりから生まれます。いま一度、自治会の役割について見つめ直してみませんか。

自治会の主な活動

環境美化	一斉清掃。ごみ集積場の清掃や、分別資源ごみの回収活動など
親睦	夏祭りや文化祭、運動会など
支え合い	子ども会や学校行事への協力、敬老会や訪問活動など
防犯	防犯パトロールの実施、防犯灯の設置・管理。子どもの見守り活動
自主防災	防災訓練の実施、連絡網の整備
地域からの改善提案の取りまとめ	道路や排水路の修理など、行政への意見や改善提案を伝える
市広報紙などの配布や回覧	市広報紙や市からの文書、地域の防犯情報やお知らせの配布・回覧

自治会に加入するには、自治会長や役員らに連絡してください。連絡先が分からないときは、近所の人に尋ねるか、市コミュニティ協働推進課に問い合わせてください。